

公式って 考えて作り上げるもの

鶴岡南高（京谷伸一校長）の2年生が講師を務める算数の授業が23日、鶴岡市京田小（布川敦校長）で行われ、5年生12人が三角形の外接円の作図について学んだ。

高校生が 先生です

鶴岡南高は文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されており、生徒自らが課題を設定し、主体的に探究する学習活動「鶴南ゼミ」に取り組んでいる。

講師を務めたのは数学ゼミに所属する五十嵐あかりさん（17）と宇佐美かのんさん（17）。2人は「最初に公式を示してしまう教え方（公式提示型）」と、公式を導き出す努

力をしてもらう教え方（公式作り上げ型）で、知識の定着に違いがあるか」をテーマに、研究を進めてきた。

この日の授業には、作図を教える際に効果が見られた公式作り上げ型を採用。児童たちはコンパスや定規、分度器を使い、三角形をびったりとはめ込むことができる円をどうすれば描けるのかを考え、最後に「三辺の垂直二等分線が交わるところに円の中

鶴岡南高生 児童に算数を指導



心を持つてくる」と説明されてきて面白かった。高校生のみると、納得した表情を見せて姉さんたちが優しく教えてくれた。三浦瑛里子さん（11）は「新しいことを学ぶことができて話していた」。

鶴岡南高の2年生2人が講師を務め、5年生に算数の授業を行った
—鶴岡市・京田小